給与支払報告 特別徴収に係る給与所得者異動届出書

※小郡市記入欄

整理番号

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。　（届出書はコピーしてご使用ください）

小郡市長 宛

平成　年　月　日提出

給与支払者（特別徴収義務者）

名称（氏名）	㊞
所在地	（〒　－　）
法人番号	

特別徴収義務者指定番号

この届出書に応答される担当者

課　係

氏名

TEL（　）　－　内線

給与所得者

		旧姓	① 年税額	② 徴収済税額	③（①－②） 未徴収税額	異動年月日
フリガナ						
氏名	（生年月日　．　．）		円	月分から 月分まで	月分以降 円	平成　年　月　日
個人番号						
1月1日現在の住所						
退職後の現住所						

異動の事由	未徴収税額の徴収方法
1.退職 2.転勤 3.休職 4.長期欠勤 5.死亡 6.会社解散 7.住所誤報 8.	1.特別徴収継続 Ⓒに記入してください。 2.一括徴収 Ⓐに記入してください。 3.普通徴収 Ⓑに記入してください。

※一月一日から四月三十日までの間に未徴収税額がある場合には一括徴収することが義務づけられています。

Ⓐ未徴収税額を一括徴収する場合記入してください。

一括徴収の理由	1.異動が平成　年12月31日以前で、申出があったため（　月　日　申出） 2.異動が平成　年1月1日以降で、特別徴収の継続の希望がないため			
異動者印	給与等の支払予定年月日	徴収予定額	合計（上記③と同額）	一括徴収した税額は
㊞	年　月　日	円	円	月分（　月　日納期限分）で納入します
	年　月　日	円		

Ⓑ未徴収税額を個人納付（普通徴収）する場合記入してください。

一括徴収できない理由（いずれかに○を付してください）

1.異動が12月31日以前で、一括徴収の希望がないため
2.5月31日までに支払うべき給与又は退職手当がないため、又は未徴収税額より少ないため
3.その他理由（　）

Ⓒ転勤等により特別徴収継続する場合記入してください。

給与支払者（特別徴収義務者）

フリガナ	
名称	
所在地	（〒　－　）

月割額　円を　月分から　徴収し納入します。

この届出書に応答される担当者	課　係 氏名	特別徴収義務者指定番号	新規
	内線 TEL（　）　－	法人番号	
特別徴収に係る納付書の送付	必要・不要		

年末調整時に退職者分として報告していただいてもかまいません。

1月1日から退職時までの給与支払額	同じく控除社会保険料額
円	円

課税年度	現年度	新年度
処理事項		

※法人番号、個人番号は、平成29年１月１日以降の提出分より記入して下さい。